

ブラキムラとめぐる！仙台城下町ポヤージュ 〔2022年7月5日放送分・北四番丁／上杉山通〕

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱＝辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。

- 芭蕉の辻から奥州街道(現在の国分町通)を北上する旅の途中です。今月は東に寄り道しスタート&ゴールは北四番丁と愛宕上杉通の交差点にある勝山公園です。公園の交差点に近い隅っこに、今回の辻標「北四番丁／上杉山通」があります。北四番丁は、県庁の北から数えて4本目の侍屋敷街です。東は宮町から、西は城下の難所である深い谷「へくり沢」(前回、少しご紹介しました。青葉区八幡町界限＝尚絅学院中高がある辺りの深い谷です)に突き当たるまでの東西に長い通りでした。



- 「上杉山通」とは、現在の台原地区に通じる南北の通りです。実は、現在住居表示に用いられているこの「上杉」という地名には、ちょっとした秘密があります。仙台藩は建築資材などの確保を目的に、今の台原近辺にスギを植林しました。上杉山通とは、その杉を植えた山「杉山」に通じる通りだったのです。
- なるほど、杉山通は分かりましたが「上」がなぜ付くのでしょうか？ブラキムラさんによると、宮町の西側に並行して「杉山」に行く通りが何本かありました。その中のお城に最も近い通りに「上」の字をつけて「上・杉山通」と呼んだのです。名前こそほとんど消えてしまったものの「中・杉山通」などもあったといいます。だから住所は青葉区上杉ですが、その先の「山」まで略さずに言わないと本来の意味が分からなくなるのです。このコーナーのファンの皆さん、「上杉」という時には心の中で「上杉(山)」と付け加えましょう！

- さて、そうすると気になるのが地域の学校の名前です。小学校は「上杉山通小学校」なのに、中学校は「上杉山中学校」です。中学校には「通」の字がつかないのです。校名の微妙な違いには、絵図を見るとハッキリ分かる理由がありました。小学校は、上杉山通に面していたから「上杉山通小学校」できまり。しかし、その上杉山通は北七番丁までで、以北は田んぼの中の細道でした。だから、それより北に建てられた中学校は上杉山通に面していなかった…。だから校名に「通り」が入らず「上杉山中学校」となったんですね。卒業生の方&地域の皆さん、ご存知でしたか？

〈文・佐々木淳吾〉